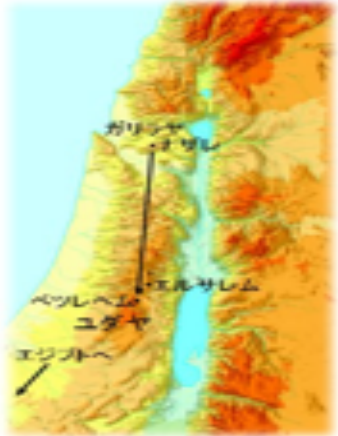


世界史B 資料 新約聖書

1,イエスの誕生

イエス・キリストaの誕生bは次のようであった。その母()1はヨセフの妻と決まっていたが、ふたりがまだいっしょにならないうちに、()2によって身重になったことがわかった。c夫のヨセフは正しい人であって、彼女をさらし者にはしたくなかったので、内密に去らせようと決めた。d彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現われて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れなくてあなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその()3から救ってくださる方です。e」

マタイ1・18~21



a,e,キリスト

ギリシャ語(新約聖書原典の言語)。

ユダヤ語のメシア=[]4 の意。

b,イエスの誕生

BC4年頃。ユダヤのベツレヘムで[]5人の両親---父ヨセフと母マリヤ(マリア)のもとに生まれる。

c,現代風に言うと「[]6の母」

キリスト教ではこれをマリヤの「処女 懐胎」と言う。当時の世間からイエスは私生児と思われていた。

d,マリヤが、結婚以前に身籠もったことは、当時のユダヤ社会では許されないことで、公表し「[]7打ちの刑(申命記22・23)で裁かれるべきことだった。

生誕の日=[]8---「Xマス」という表記は、ギリシア語でキリストと書くときの頭文字Xにmas(礼拝)をつけたもの。イエスの生誕の日は不明。もともと「キリストの礼拝」という意味で、4世紀後半からキリスト教を国教とした[]10帝国の祝日だった12月25日の日にキリストの誕生を祝い毎年行われるようになった。

2,荒野での修行 (誘惑を受ける)

さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。そして、四十日四十夜断食したあとで、空腹を覚えられた。

すると、試みる者が近づいて来て言った。「あなたが()9なら、この石がパンになるように、命じなさい。」今度は悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその栄華を見せて、言った。「もしひれ伏して私を()5なら、これを全部あなたに差し上げましょう。」

イエスの答え

「『人は()10だけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」

「『あなたの()11を拝み、主にだけ仕えよ』と書いてある。」

マタイ4・1~11

3,イエスとその家族 (ナザレで受け入れられない)

イエスはそこを去って、郷里に行かれた。弟子たちもついて行った。安息日になったとき、会堂で教え始められた。それを聞いた多くの人々は驚いて言った。「この人は()12fではありませんか。()13の子gで、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟ではありませんか。その妹たちも、私たちとここに住んでいるではありませんか。」こうして彼らはイエスにつまずいた。

マルコ6・1~3

f,イエスの職業---イエスは家族とともにナザレで成長し、その仕事は父ヨセフと同じく、大工だった。

g,「マリヤの息子」 ---当時のユダヤ社会では、私生児に対する蔑称。[]14制度のユダヤでは、子供は「アブラハムの子イサク」と呼ばれるように、父の名の次に子の名前をいうのが普通だった。

4,イエスの言葉と行動

「安息日」

ある安息日のこと、イエスは麦畑の中を通って行かれた。すると、弟子たちが道々穂を摘み始めた。すると、パリサイ人hたちがイエスに言った。「ご覧なさい。なぜ彼らは、安息日なのに、してはならないことをするのですか。」イエスは言われた。「安息日は()15のために設けられたのです。人間が安息日のために造られたのではありません。」

マルコ2・23~8

別の安息日に、イエスは会堂にはいって教えておられた。そこに右手のなえた人がいた。そこで律法学者、パリサイ人たちは、イエスが安息日に人を直すかどうか、じっと見ていた。彼を訴える()16を見つけるためであった。iイエスは人々に言われた。「あなたがたに聞きますが、安息日にしてよいのは、善を行なうことなのか、それとも悪を行なうことなのか。いのちを救うことなのか、それとも失うことなのか、どうですか。」そして、彼らに言われた。「()17は、安息日の主です。」

h,パリサイ(ファリサイ)人---律法学者の多くが属するユダヤ教の一派。律法を厳格に解釈。
i, --- 後にイエスはパリサイ派により訴えられて、十字架にかけられる。

「敵を愛しなさい」

「『自分の隣人を愛し、自分の敵を憎め。』と言われたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の()18を愛し、迫害する者のために祈りなさい。それでこそ、天におられるあなたがたの父の子どもになれるのです。天の父は、悪い人にも良い人にも太陽を上らせ、正しい人にも()19人にも雨を降らせてくださるからです。自分を愛してくれる者を愛したからといって、何の報いが受けられるでしょう。異邦人でも同じことをするではありませんか。だから、あなたがたは、天の父が完全なように、()20でありなさい。」

マタイ5・43~48

「あなたの右の頬を打つような者には、()21も向けなさい。」
「()22をつくる者は幸いです。その人は神の子どもと呼ばれるからです。」

マタイ5・39

マタイ5・9

「貧しい人」「幸いと不幸」「金持ちの青年」

「()23は幸いです。天の御国はその人のものだからです。悲しむ者は幸いです。その人は慰められるからです。義に飢え渴いている者は幸いです。その人は満ち足りるからです。あわれみ深い者は幸いです。その人はあわれみを受けるからです。」マタイ5・1-10

「しかし、()24いるあなたがたは、哀れな者です。慰めを、すでに受けているからです。いま食べ飽きているあなたがたは、哀れな者です。やがて、飢えるようになるからです。」

ルカ6・24~5

イエスは、彼に言われた。「もし、あなたが完全になりたいなら、帰って、あなたの持ち物を売り払って貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を積むこととなります。そのうえで、わたしについて来なさい。」ところが、青年はこのことばを聞くと、悲しんで去って行った。この人は多くの財産を持っていたからである。

「まことに、あなたがたに告げます。()25が天の御国にはいるのはむしろかしいことです。まことに、あなたがたにもう一度、告げます。金持ちが神の国にはいるよりは、()26が針の穴を通るほうがもっとやさしい。」

マタイ19・16~24

「あなたがたも知っているとおりに、異邦人の支配者たちは彼らを支配し、偉い人たちは彼らの上に権力をふるいます。あなたがたの間では、そうではありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、()27者になりなさい。」

マタイ20・25~27

『文中()は資料のマタイ、マルコ等の各節に対応。

『[]の多くはすでに今までの授業で触れているので、答えは各自で。